



2025中期経営計画実現に向けた  
財務戦略により  
「NOF VISION 2030」  
の推進を支えます

常務執行役員 兼 CFO 梅原尚也

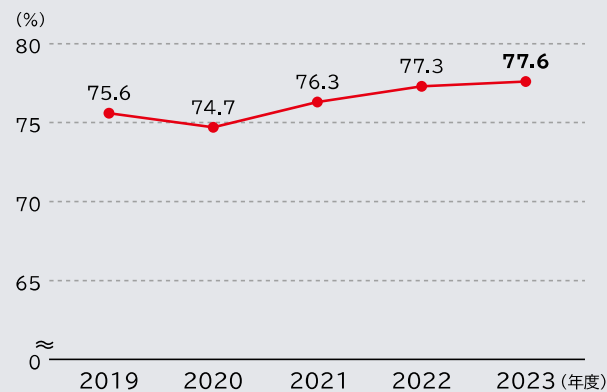
日油グループは「中期経営計画NOF VISION 2030」において事業領域拡大を目指す中で、2025年度を最終年度とする2025中期経営計画を収益拡大ステージと位置付け、積極的な投資を実行すべく、戦略投資枠を想定しました。

これを支える財務戦略としては「財務健全性の確保」「株主還元の充実」「資本効率の向上」「投資者との対話」を基本方針とし、これら4つのバランスの最適化に取り組めます。

## 1. 財務健全性の確保

企業価値向上に向けた戦略投資を実行する上で財務的な規律が必要と考えます。これまでの取り組みにより自己資本比率は70%超、手元流動性比率2カ月以上、ネットD/Eレシオ0.02倍と財務健全性は確保されています。また、格付投資情報センター(R&I)より「A+」の格付を取得しています。2025中期経営計画では、戦略投資枠として3年間で総額700億円規模を想定し、設備投資[生産・環境]、研究開発、人的投資の3つのテーマについて積極的な投資を行います。引き続き財務健全性の確保と成長領域へ投資の両立を目指します。

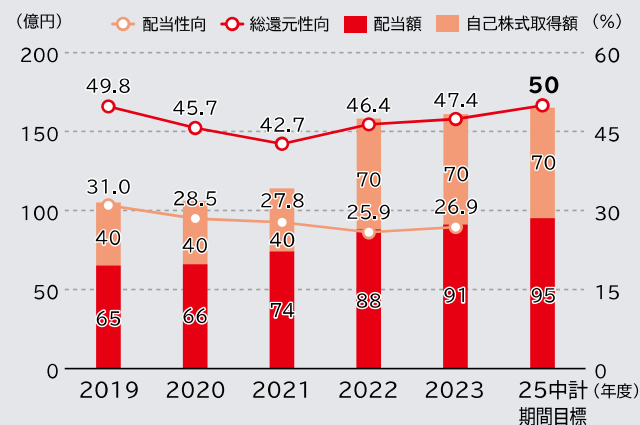
■ 自己資本比率



## 2. 株主還元の充実

総還元性向の目標水準を2025年度50%程度とし、事業成長と財務健全性のバランスを取りながら安定的かつ継続的な配当を実施します。また、自己株式の取得については、その時々の手元流動性やキャッシュフローを勘案し、機動的かつ適切なタイミングで実施します。TSR※の向上を実現するとともに、資本構成の改善を通じて企業価値の向上につなげます。

■ 配当額／自己株式取得額／配当性向／総還元性向



※ Total Shareholder Return (株主総利回り)

### 3. 資本効率の向上

資本効率を示す代表的な指標ROA、ROEについては、2025中期経営計画の最終年度である2025年度にROA13%以上、ROE12%以上とし、引き続き、資本効率の向上に向けて、収益性の高い事業へ経営資源を投入し、株主資本コスト（8%程度）を上回る投資リターンを意識した経営を推進します。

#### 自己資本当期純利益率（ROE）

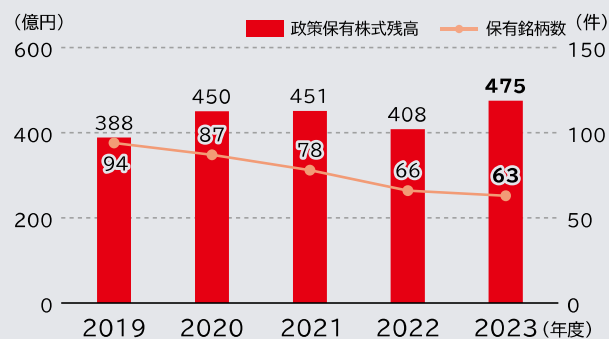


#### 政策保有株式の縮減

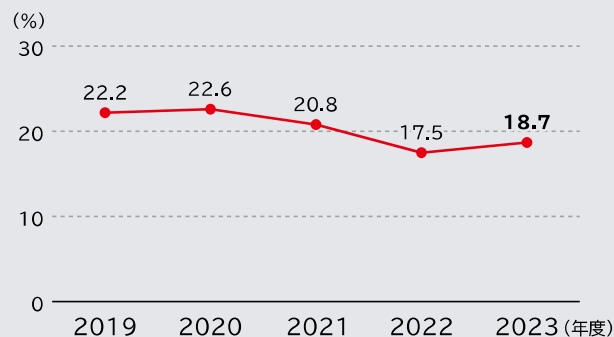
子会社が保有する上場株式も縮減検討の範囲と定め、当社グループとして着実に縮減を進めています。2023年度は、一部売却を含めると、当社単体で6銘柄を売却しました。2021年度からの3年間で当社

単体保有分を78銘柄から63銘柄まで縮減、子会社保有分を11銘柄縮減しました。2025年度末までに連結純資産比率15%以下を目指して縮減を進め、創出したキャッシュを戦略投資につなげることで企業価値を創造します。

#### 政策保有株式残高／保有銘柄数



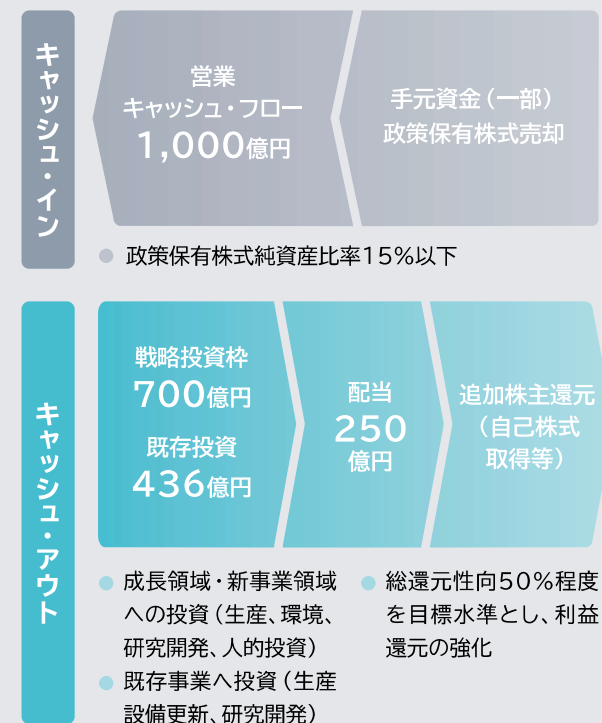
#### 政策保有株式純資産比率



### キャッシュ・アロケーション計画

積極的な戦略投資を行うなか、財務健全性、資本効率向上、株主還元の適切なバランスを重視し、キャッシュ・アロケーション計画を進めます。

#### キャッシュ・アロケーション計画



#### 4. 投資者との対話

当社はコーポレート・コミュニケーション部を2023年4月に新設し、同部内にIR室を設けました。情報開示の充実および投資者の皆さまとの対話に関する連携体制を強化し、当社グループの事業戦略についての理解を深めていただき、企業価値向上の実現に向けた取り組みに活かします。IR活動で寄せられたご意見等は、取締役会等に報告し、情報を共有しています。また、当社グループは、社会とともに持続的に成長するためにESGなど新たな社会・環境問題をはじめとするサステナビリティ課題にも取り組んでおり、IR活動を通じて発信します。

また、当社は、2024年3月31日を基準日として、株式1株につき3株の割合で株式分割を実施しました。株式を分割することで、最低投資金額を引き下げ、より多くの方が当社株式に投資しやすい環境整備を行いました。

#### 最後に

財務戦略の基本として、引き続き健全な財務基盤を確保しつつ、事業活動や政策保有株式縮減で獲得したキャッシュをもとに、成長投資、株主還元に向けた効果的なキャッシュ・アロケーションを実施します。さらに財務体質を維持・強化し、必要に応じて適切な資金調達手段を講じ、成長戦略を支えることで、当社グループの新たな価値創造による飛躍を推進します。

#### 財務KPI (実績)

	第97期 (2020年3月期)	第98期 (2021年3月期)	第99期 (2022年3月期)	第100期 (2023年3月期)	第101期 (2024年3月期)
営業利益	269億円	266億円	356億円	406億円	421億円
営業利益率	14.9%	15.4%	18.5%	18.7%	19.0%
ROA	12.0%	11.4%	13.4%	14.4%	14.0%
ROE	11.9%	12.2%	12.6%	14.8%	13.5%
自己資本比率	75.6%	74.7%	76.3%	77.3%	77.6%
D/Eレシオ	0.06倍	0.05倍	0.03倍	0.02倍	0.02倍
格付 (R&I)	A	A	A+	A+	A+
総還元性向	49.8%	45.7%	42.7%	46.4%	47.4%